

人権リーフレット『無意識の思い込み・偏見』について考えてみませんか』学習展開案

全体進行	グループ進行	教材の説明・解説
<p>1 リーフレット表紙面 リーフレットの表紙をご覧ください。</p>		
<p>(リーフレットの表紙を見る)</p>		
<p>今年の人権リーフレットのテーマは「無意識の思い込み・偏見について考えてみませんか？」です。これは、英語の「アンコンシャスバイアス」の和訳です。「アンコンシャス」は「無意識」という意味で「バイアス」は「思い込み」とか「偏見」という意味があります。では、最初に「アンコンシャスバイアス」について映像を見てみましょう。</p>		
		<p>副教材上映 (Youtube 報道番組 4:30) 「アンコンシャスバイアスとは？」について理解しやすい教材を選ぶ。また、番組の中で自身のバイアスチェックをする映像があると、次につなげやすい。</p>
<p>「アンコンシャスバイアス」について、ざっと理解していただけだと思います。</p>		
<p>2 リーフレット中面左側 リーフレットの中面をご覧ください。</p>		
<p>(リーフレットの中面を開く)</p>		
<p>左側にある9つの文は、アンコンシャスバイアスの学習をする時によく使われる事例です。こ</p>		

<p>の9つの事例を読んでいただき、私たちも思い当たる項目をチェックしてみましょう。チェックの時間は（2）分間です。ではお願いします。</p>		
<p>< チェック作業 ></p>		
<p>作業をやめてください。この事例を読んで気づいたことがあると思います。 そこで次は、読んで気づいたことについてグループで話し合いをお願いします。 話し合いの時間は（10）分間です。各グループの進行役の方、進行をお願いします。</p>		
<p><グループで話し合い></p>	<p>（導入案1） 思い当たるものがあつたでしょうか？ 手をあげてください。 0コの人？ 1コあつた人？ 2コあつた人？ もっとあつた人？</p>	
	<p>（導入案2） では最初の事例について考えてみましょう。 （1）「①『外科医』と聞くと、男性を想像する」について、ご意見をお願いします。 （2）その他の事例についてでも結構です。ご意見をお願いします。 ※ 別紙資料1を参考に必要に応じた情報提供を行う</p>	

<p>話し合いをやめてください。 いかがだったでしょうか？「自分にはこんな思い込みい込みがあったなあ」と気づいたものがあったのではないかと思います。</p>		
<p>ここまでのふり返しとして、AC ジャパンが2023 年中に公共広告した映像を、事務局に説明していただいた後見てみましょう。</p>		
		<p>これは、公益財団法人 AC ジャパンが作った「聞こえてきた声」という公共広告の作品で、昨年度1年間テレビやラジオで放送があった内容を絵にしたものです。</p> <p>それでは、この作品の映像を見てみましょう。約1分秒の作品で、あっという間に終わるのでよく見ていてください。</p>
		<p>(映像上映) ACジャパン広告作品 聞こえてきた声 1:00</p>
		<p>どんな声が聞こえたのでしょうか？先ほどの話し合いの後ということで、思っている声とは違う声を想像することができたかもしれません。まずは、私たちが持つ無意識の思い込みに気付くことが大切だと思います。以上で説明を終わります。</p>

<p>3 リーフレット中面右側</p> <p>ありがとうございました。次に、リーフレット中面の右側の絵をご覧ください。</p>		
<p>(中面右側の絵を見る)</p>		
<p>これは、お互いを認め合う社会が進んでいる様子を12の絵で表しています。毎日の暮らしや地域の様子と重ね合わせ、気づいたことや、考えたことなどについて話し合ってください。</p> <p>グループの進行役の方は、最初に絵が示す意味を簡単に説明してください。話し合いの時間は(10)分間です。</p> <p>ではグループの進行役の方をお願いします。</p>		
	<p>では、絵が示す意味を、簡単に説明します。</p> <p>●外側の絵を1時の方向から時計回りに</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 外国人市民の消防団員です。 ② 色々な色のランドセルを背負った小学生の様子です。 ③ 同性婚の様子です。 ④ 障がいがある人と健常者が一緒にスポーツを楽しんでいる様子です。 ⑤ 中高生が制服の組み合わせを自由に選んで通学している様子です。 ⑥ 地域で国際交流をしている様子です。 ⑦ パートナー同士と一緒に子育てをしている様子です。 ⑧ 女性の管理職と男性の部下の様子です。 	

	<p>●内側の絵をご覧ください。1 2時の方向から時計回りに</p> <p>⑨ 外国人市民の看護師・介護士を表しています。2009年から導入している制度です。</p> <p>⑩ 高齢者または高齢女性がパソコンを扱っている様子です</p> <p>⑪ 家事労働をフィフティーに分担している様子です</p> <p>⑫ 外国人市民や障がいがある人が地域のお祭りに参加して楽しんでいる様子です</p> <p>●それでは、思い当たる絵と、思ったことを出し合いましょう。</p> <p>どなたからでもどうぞ… お願いします。</p> <p>※ 別紙資料2を活用して必要な情報を提供</p>	
<p>< グループ話し合い ></p>		
<p>話し合いを止めてください。</p> <p>ここで、各グループの話し合いを交流したいと思います。</p> <p>話題になった絵と意見を紹介してください。</p>		
<p>1つ目のグループお願いします。</p> <p>< 発表 ></p>		
<p>2つ目のグループお願いします。</p> <p>< 発表 ></p>		
<p>3つ目のグループお願いします。</p> <p>< 発表 ></p>		

<p>他のグループの意見を聞いて、家庭のことや地域のことについて、何か思いついたり、考えたりできたのではないかと思います。</p>		
<p>4 リーフレット裏面 それでは、リーフレットの裏面をご覧ください。</p>		
<p>(リーフレットの裏面を見る)</p>		
<p>裏面について事務局に説明をしてもらいます。 よろしくをお願いします。</p>		
		<p>では、裏面について説明します。「アンコンシャスバイアスとは」の記事をご覧ください。 「アンコンシャスバイアス」については、映像などを見ていただいた通りです。誰にでもあるものですが、自分自身のバイアス（無意識の思い込み）に気付かずにいると、知らないうちに相手を傷つけたり、自身の可能性を狭めてしまうことがあるということです。</p>
		<p>次の「代表的な種類と身近な具体例」の記事をご覧ください。 アンコンシャスバイアスは、その特徴から沢山の種類に分けられています。このリーフレットでは、代表的なものを6つ紹介しています。 アンコンシャスバイアス（無意識の思い込み）は、自分で気づくことが難しいと言われています。しかし、これらの種類を知っておくことで、</p>

		<p>目の前にあるアンコンシャスバイアスに気付く手がかりにすることができます。</p> <p>また6番目の「インポスター症候群」をご覧ください。これは、思い込みによって自分自身を過少評価してしまい、自身の可能性や能力を発揮する機会を小さくしてしまうものです。特に取り上げられているのが、自身の能力に照らして判断するのではなく、属性、つまり「女性だから…」とか「障がいがあるから…」とか「外国人だから…」などを理由に「自分には無理」と判断してしまうことを指します。</p>
		<p>次の「気づきから行動へ」の記事をご覧ください。</p> <p>この記事では、「まず、何か一つ自身の行動にしてみませんか？」といういくつかの提案をしています。では、記事を読みます。</p>
		(「気づきから行動へ」の記事を読む)
		以上です。
<p>ありがとうございました。</p> <p>今日の学習のふり返って、何か一つ暮らしの中に取り入れていただけたらと思います。</p>		
<p>以上で、本日のリーフレットによる学習を終わります。みなさん、最後までありがとうございました。</p>		

別紙資料1

■リーフレット中面左ページに関する資料

① 「『外科医』と聞くと、男性を想像する」

●連合調査との比較（2020年）	
・親が単身赴任と聞くと父親を創造する	
…認識率	66.3%
…男性	66.5%
…女性	66.7%
…答えたくない	49.9%

ア) 労働組合の連合が、全国の組合員5万人から回答を得たアンケートがあるんですが、このようなジェンダーに関わる質問は、認識率がとても高い割合となっているそうです。

イ) 全国の外科医のうち女性の割合は6.2%で、確かに少ないです。

ウ) 福山市民病院の外科医は、16人で、内女性は1人だそうです。

これを割合にすると6.1%になり、全国の数字とほぼ同じになります。

エ) たまたま、女性の外科医に担当してもらおうことがあります。

男性と同じ試験を合格し、同じように勤務している先生なので安心して担当してもらえます。

② 「家事・育児・介護は女性がしたほうがよい」

●連合調査（2020年）	
・子どもが病気になった時は母親が休んだ方がいい	
…認識率	21.1%
…男性	21.7%
…女性	19.4%
…答えたくない	15.3%

③ 「(日本に住む) 外国人はルールを守らない人が多い」

●連合調査（2020年）	
・外国人労働者は日本の企業文化に合うか心配	
…認識率	25.8%
…男性	27.6%
…女性	18.9%
…答えたくない	24.8%

④ 「特定の地域に対して「治安が悪い」というイメージを持っている」

⑤ 「子どもが病気になった時は、母親が看病したほうがよい」

⑥ 「組織の代表者は、男性がしたほうがよい」

・PTA や子ども会はいかがでしょう。実際の話し合いや活動では女性（母親など）のケースが多いかと思います。故に、実は代表者も女性の方が上手くいくとも考えられます。

・2010年代にアメリカのIT企業が調査したところ「女性は管理職には向いていない」と考えている社員がいることがわかりました。アメリカの歴史を振り返っても、女性の社会的立場は弱い位置に置かれ、参政権などの権利は、日本と同じく一般男性よりずっと後に認められました。

⑦「性別は、男女の2つしかない」

性別は、誕生性（体の性：男性 女性）の他に

- ・自認性（心の性）
- ・性指向（恋愛対象）
- ・表現性（生活スタイル）などで分けられているそうです。
- ・FaceBook社は58種類の性別を認識しています。
- ・性の先進国タイでは18種類に分けられていると言っています。

●連合調査（2020年）

・LGBTだと聞くと戸惑いを感じてしまう

・認識率	18.1%
..男性	20.3%
..女性	9.6%
..答えたくない	16.5%

⑧「祝い事の際には、仏滅の日を避ける」

- ・仏滅や大安などは六曜の一つです。これは、1000年以上前に発達した陰陽道という占いに用いられました。
- ・呼び方は時代時代で変わっています。
- ・太陰暦で複雑に設定されているので、太陽暦の生活スタイルが定着した私たちの暮らしとは一致しません。ゲン担ぎ程度の意味しか持ち合わせないようです。
- ・吉凶の内、仏滅を避けたいと思う人が多いようですが、最も凶日とされる赤口（しゃっこう）を気にする人はあまり見かけません。

⑨「『家柄』や『育ち』からその人のことをイメージする」

- ・どちらも、本人の能力や資質などを正確に表すものではなく、こうした情報を重視してしまうと大切な友だちやパートナーとの出会いのチャンスを逃すことにつながります。

別紙資料2

リーフレット中面 右ページに関する資料

① 外国人市民の消防団員

- ・福山市内に実際におられます。

② 色々な色のランドセルを背負った小学生

- ・かつては「男子は黒 女子は赤」でしたが、黒を選ぶ女子もいます。

③ 同性婚

- ・全国で、同性カップルを社会的に受け入れる「パートナーシップ」条例のある自治体が増えています。県内では、広島市の他、近隣では府中市が導入しています。

④障がいがある人と健常者が一緒にスポーツを楽しんでいる様子

- ・マツダスタジアムやピースウイングなど、新しい施設では、車いす席の他、さまざまな障がいがある人がスポーツを楽しめるよう工夫されています。

⑤ 中高生が制服の組み合わせを自由に選んで通学している様子です。

- ・自分の性に違和感のある人は3～8%程度と言われています。校則で決められた制服が受け入れられず不登校になるケースがあり、多くの学校で取り組まれています。

⑥ 地域で国際交流

- ・お互いに知り合えば不安が解消され、逆に地域参加してもらうことで、助かっているケースが増えています。

⑦パートナー同士と一緒に子育てをしている様子

- ・協力し合って子育てをする世帯が増えています。

⑧ 女性の管理職と男性の部下

- ・女性の管理職登用率について、広島県は全国的に遅れていると言われています。その中で小学校は女性教員が多いこともあり、女性管理職が多く誕生しています。

⑨ 外国人市民の看護師・介護士

- ・日本政府は2009年にフィリピン政府やインドネシア政府と、二国間協定を締結。看護師や介護士の候補となる人材を受け入れています。日本で学んでもらい、看護師や介護士になった人が増えています。

⑩ 高齢者または高齢女性がパソコンを扱っている様子

- ・高齢者または高齢女性がパソコンで仕事や作品を作るなど、さまざまな用途に活用している人が増えています。

⑪ 家事労働をフィフティーに分担している様子

- ・1989年に文部科学省が学指導要領を改訂し、男子も女子も、技術と家庭科を学ぶようになりました。

⑫ 外国人市民や障がいがある人が地域行事に参加している様子

- ・福山市における外国人市民の人口割合は2%以上で、1万人を超えています。